

[連続セミナー]

生物多様性保全に役立つ合法木材調達 第2回

震災復興を支える国産材の現状と 木材調達におけるハイリスク製品



本日のプログラム

14:00	開会
14:05-14:15	日本政府の取組み 滝 勝也／林野庁木材貿易対策室木材専門官
14:15-14:35	木材調達に潜む環境社会リスクの見分け方 三柴 淳一／国際環境NGO FoE Japan
14:35-15:15	仮設住宅建設における環境配慮型の木材利用 網島 淳／ミサワホーム(株)建設推進部
15:15-15:25	質疑応答
15:25-15:35	休憩
15:35-16:15	国産材の現状:供給の可能性と課題 相川 高信／ 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)環境・エネルギー部
16:15-17:00	質疑応答&ディスカッション
17:00	閉会

セミナー内容

- 第一回
「海外木材生産国の現状と違法伐採対策の
現在」
- 第二回
「震災復興を支える国産材の現状と木材調
達におけるハイリスク製品」
- 第三回
「木材利用におけるリスクとフェアウッド
導入のメリット」

連続セミナーの目的

「生物多様性」をキーワードに;

- ① 震災復興および国際森林年の双方に重要な国内外における木材調達法を再考
- ② 海外の木材生産国の現状を背景とした、生物多様性に配慮した木材利用について情報交換
- ③ 合法木材、環境社会配慮された木材利用の普及拡大

[イントロダクション]

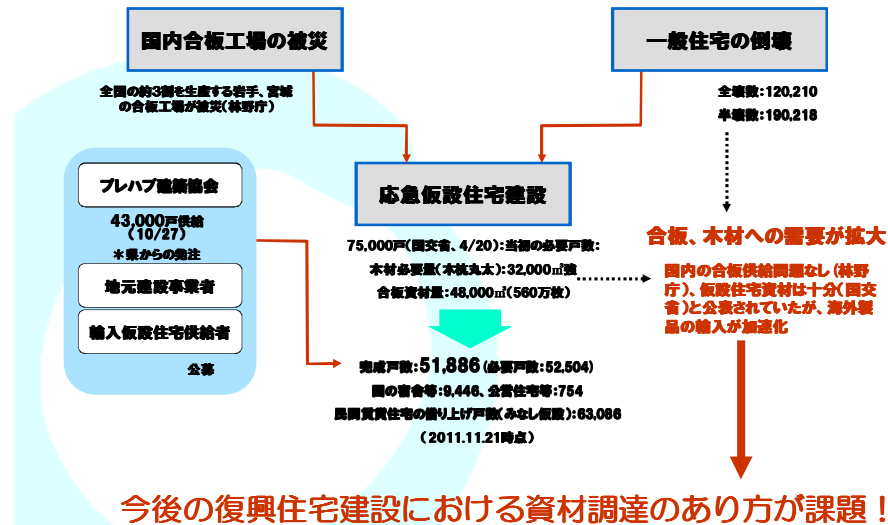
木材調達に潜む 環境社会リスクの見分け方



フェアウッドパートナーズ/FoE Japan

三柴淳一

東日本大震災と木材



[連続セミナー]生物多様性保全に役立つ合法木材調達第2回(2011年11月30日)

震災後の木材輸入

○合板輸入の例

*財務省貿易統計を基に作成

マレーシア (441232991)

	3月	4月	5月	6月	7月
2010	23643	29344	20098	22737	29224
2011	25003	41528	57631	53900	58706
前年比(%)	106	142	287	237	201

中国 (441299920)

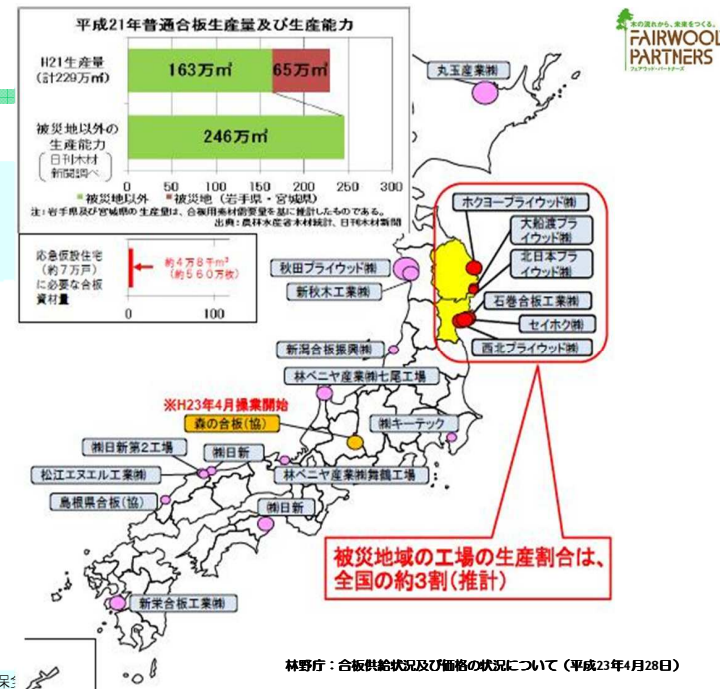
	3月	4月	5月	6月	7月
2010	17889	33273	27339	25669	22373
2011	36533	39570	47075	33483	30658
前年比(%)	204	119	172	130	137

○輸入に際した弊害

- ・中国の合板製造業者がJAS法に基づく認定事業者であるかのように証明書等を偽装(農林水産省、7月29日)
- ・サラワク産の合板価格は東日本大震災後、1m³当たり400米ドル(1,200リング)から600米ドル(1,800リング)に跳ね上がった。(ニュー・ストレーツ・タイムズ、5月16日)

木材輸入が生産国に与えるインパクトとリスクが顕著に!

参考資料



[連続セミナー]生物多様性保

環境社会リスクとは

- 環境リスクとは
 - 森林生態系および流域環境への悪影響
 - 生物多様性の損失
 - 絶滅危惧種
- 社会リスクとは
 - 森林利用権をめぐる地域社会とのコンフリクト
 - 土地所有権をめぐる地域社会とのコンフリクト
 - 人々の生活保障へのインパクト

合法性と持続可能性

- 木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン(林野庁 平成18年2月)における定義は以下のとおり
- 合法性:
伐採に当たって原木の生産される国又は地域における森林に関する法令に照らし手続きが適切になされたものであること
- 持続可能性:
持続可能な森林経営が営まれている森林から産出されたものであること

なぜ必要か

- 環境社会リスクは「合法性」の範疇に含まれていないことが多い。他方、持続可能性の定義はない
 - 合法性は、森林、林業関連法規にのみ限定しているケースが多い
 - 定義の難しい生物多様性等は「合法性」の範疇から外れるケースが多い
 - 人権や社会影響など社会的な影響は「合法性」の範疇にない
- 「合法性」から「持続可能性」へステップアップするために不可欠な項目

環境社会リスクの事例(マレーシア、サラワク)

- 263万ha*もの天然二次林の早生樹植林地(またはオイルパーム農園)への転換を州政府が認可、奨励
*州面積の21%、州の生産林の36%に該当(MTC 2006)
- 263万haには先住民族の慣習権が適用される土地(NCR Land)も含まれている
- 植林対象地の多くは荒廃した土地ではなく、かなりの植林用の地力を有していると推測される(海外産業植林センター 2008)
- 生物多様性の損失は顕著、地域社会への影響も計り知れない

植林事業許可地の様子 - マレーシア・サラワク州ロンラマ(2010年7月)

植林事業ながらアブラヤシ植栽用に造成



アカシアの海 - マレーシア、サラワク州ピントウル(2009年2月)

(c) FoE Japan



看板には
「この土地はセンゴック村長のNCR」



植林事業許可地に含まれる先住慣習地
- マレーシア、サラワク州ピントウル(2009年2月) (c)FoE Japan



村から植林事業許可地内に通じるアクセス路に土砂がつかまっている
- マレーシア、サラワク州ピントウル(2011年8月) (c)FoE Japan

環境社会リスクの事例 (豪、タスマニア)



- 保護価値の高い森林(HCVF)も生産林に割り当てられ伐採対象に
- 伐採は皆伐。伐採後の林地は火器を用いた火入れによる更新
- 森林生態系および流域環境への悪影響、生物多様性の損失、絶滅危惧種

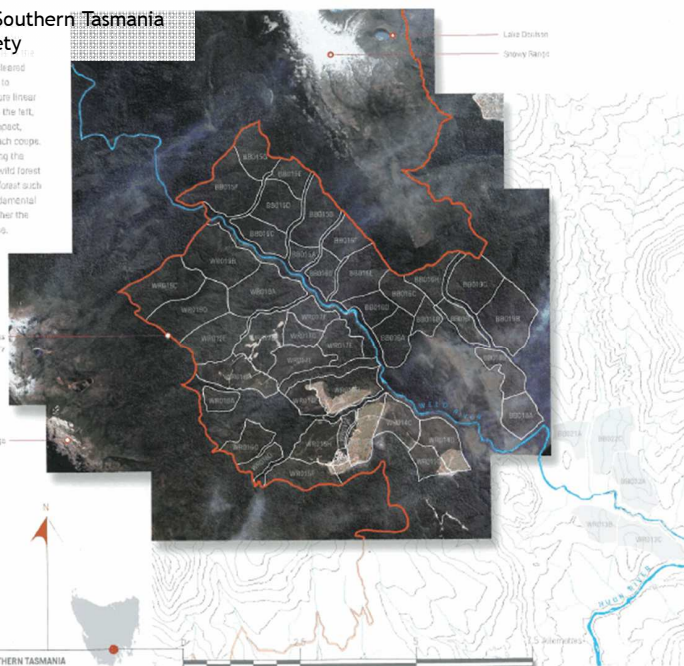
[連続セミナー]生物多様性保全に役立つ合法木材調達第2回(2011年11月30日)

Weld Valley, (c) The Wilderness Society



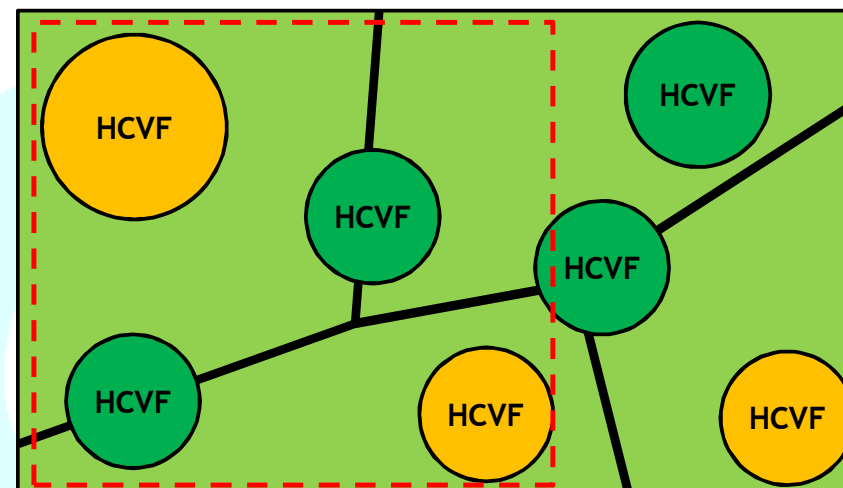
The Lower Weld Valley, Southern Tasmania
(c) The Wilderness Society

A portion of the map, this large cleared area being classified comes of up to hectares in size. The smaller, more linear logging operations that are visible to the left, if having less initial ecological impact, really join up to cover most of each coupe, later, both forms of logging bring the same outcome – the conversion of wild forest to plantations. In wilderness forest such as this in the lower Weld, the fundamental issue is not how to log, but whether the logging should occur in the first place.



THE LOWER WELD VALLEY, SOUTHERN TASMANIA

環境社会リスクの事例 (豪、タスマニア)



伐採地の模式図

[連続セミナー]生物多様性保全に役立つ合法木材調達第2回(2011年11月30日)

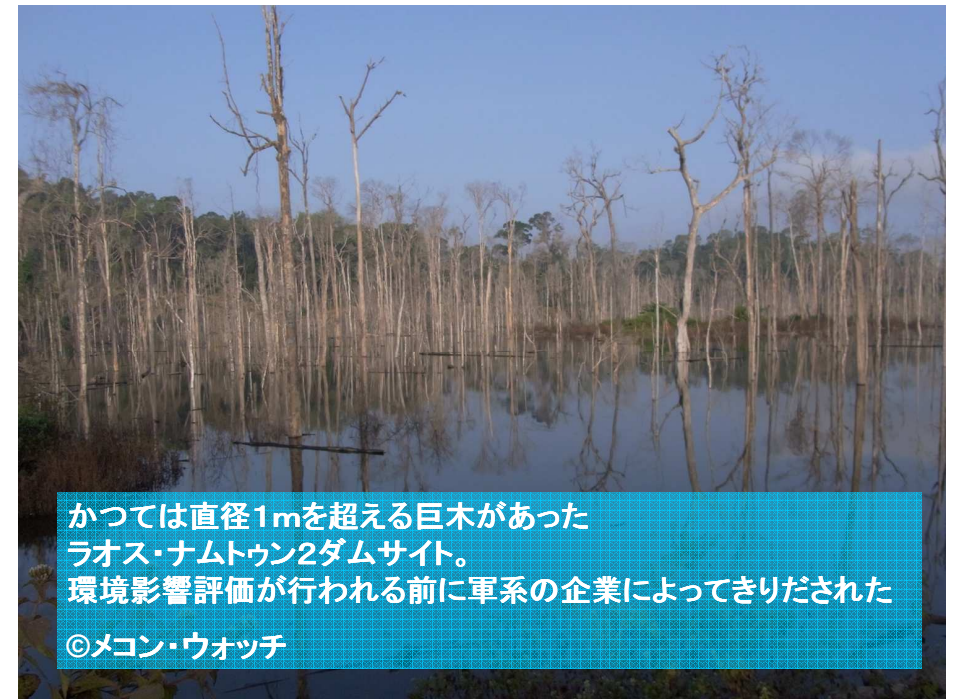
環境社会リスクの事例 (ラオス)



- 政府によって天然二次林を荒廃地として区分し、開発許可を出す
- ダム開発、農園開発等、森林の用途転換による伐採木がベトナムなど周辺の加工国へ多く流通
- 生物多様性の損失や地域住民等への社会的影響、さらに汚職・癒着などのガバナンスリスクも

[連続セミナー]生物多様性保全に役立つ合法木材調達第2回(2011年11月30日)

21



かつては直径1mを超える巨木があった
ラオス・ナムトゥン2ダムサイト。
環境影響評価が行われる前に軍系の企業によってきりだされた
©メコン・ウォッチ

サトウキビ・プランテーション開発のために造成された土地。
造成前の樹木は、木材加工企業に割り当てられた



リスクを見分けるために(1)



- フェアウッド調達の実践
 - フェアウッド調達方針の策定・公表
 - 既存の木材調達の詳細な現状把握、評価
 - フェアウッドへの段階的な転換
 - 上記プロセスの実施体制を社内に構築

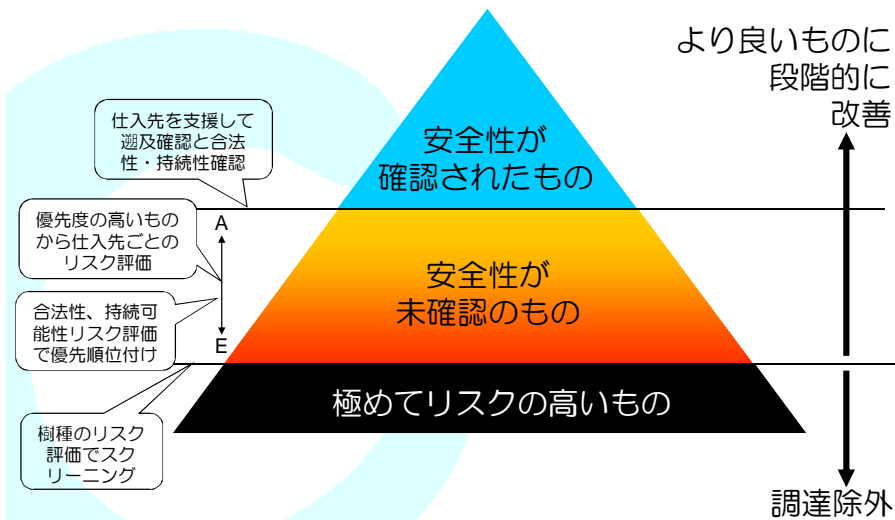
フェアウッド調達に取り組む企業

積水ハウス、東急ホームズ、地球の芽、ワイスワイス、テラス、すわ製作所、朝日ウッドテック、オカムラなど

[連続セミナー]生物多様性保全に役立つ合法木材調達第2回(2011年11月30日)

24

フェアウッド調達概念



[連続セミナー]生物多様性保全に役立つ合法木材調達第2回(2011年11月30日)

木材調達方針の策定

社内外に対して基本的な方向性を明示

「こんな木材は買わないようにします」

- 絶滅危惧種
- 違法に生産・取引された木材
- 生態系に悪影響を与えている木材
- 先住民や地域社会、労働者の権利が生活環境に悪影響を与えている木材

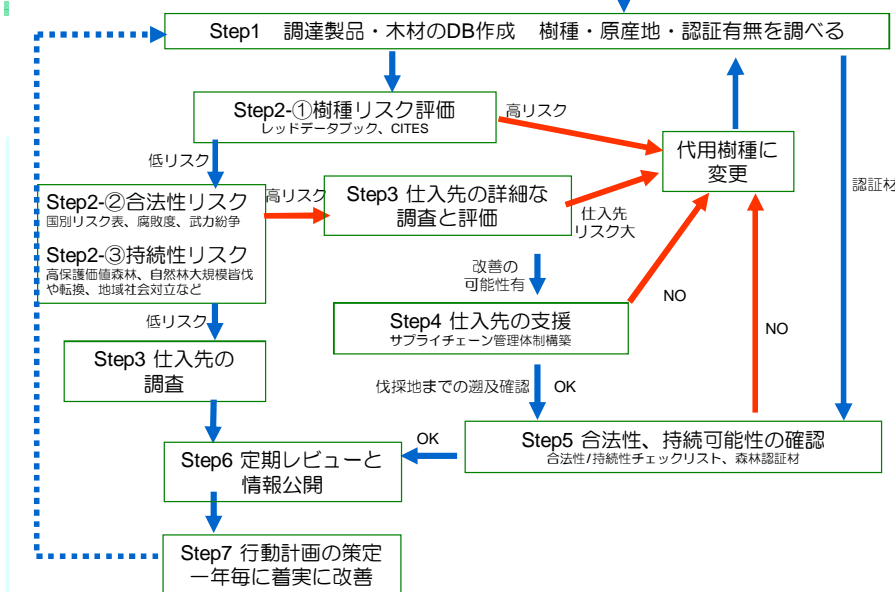
「こんな木材を買っていきます」

- 信頼のある森林認証を受けた木材 (または同等の証明のある木材)
- 建築廃材、リサイクル材
- 輸送負荷の少ない木材

仕入先や顧客へ周知、社内の教育、体制の整備

フェアウッド調達手順

Step0 調達方針の策定・公表



リスクを見分けるために(2)

WWFジャパンの林産物調達チェックリスト

- 木材製品の森林環境への配慮や社会への影響について自主的なチェックが行えるツール
- ファイルをダウンロード、各設問に答えるだけ、採点は自動
- 設問に回答するための情報はさまざま。製品に記載されている場合、製品の供給先が所持している場合など。これらの情報入手・確認する作業を繰り返すことでチェックリストは完成
- 詳しくはWWFジャパンのサイトへ
http://www.wwf.or.jp/activities/nature/cat1219/wwf_1/

[連続セミナー]生物多様性保全に役立つ合法木材調達第2回(2011年11月30日)

ご清聴ありがとうございました！

www.fairwood.jp
mishiba@foejapan.org